保存版

三原市 内水ハザードマップ

（下水道事業計画区域内）

知る

学ぶ

察知する

備える

行動する

知る

1. 災害の危険性を知ろう

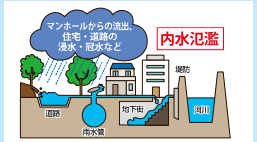
過去の被害の多くは、内水氾濫や洪水（外水氾濫）、土砂災害などが想定された場所で起きています。

こうした災害から、かけがえのない命を守るために大切なことは、「自分の住む地域のリスクを知る」ことや「ハザードマップの確認」です。

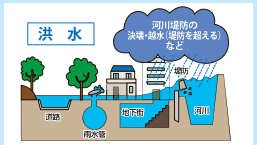
周辺のリスクをあらかじめ知ったうえで、「早めの避難」を心がけましょう。

内水氾濫と洪水（外水氾濫）

豪雨などによる浸水被害の原因は、大きく「内水氾濫」と「洪水（外水氾濫）」の2つに分けられます。



内水氾濫とは、下水道などの排水能力を超える大雨が降り、雨を河川等に排水できない場合に発生する浸水被害です。



洪水とは、大雨により河川が増水し、堤防が決壊したり、川の水が堤防を越えるなどにより発生する浸水被害です。

水害発生のメカニズム

察知する

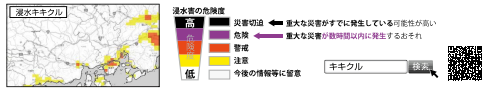
2. 避難行動のタイミングを察知しよう

市から発令される避難情報等や国土交通省、気象庁及び県から提供される防災気象情報には以下のものがあります。

警戒レベル	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報	防災気象情報（警戒レベル相当情報）浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（面）	高潮情報	キキクル（危険度分布）
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急 安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）		災害切迫
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞						
警戒レベル4	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	高潮警報	高潮特別警報 / 危険
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報	高潮注意報（高潮警報に切り替える可能性が高い）	警戒
警戒レベル2	自らの避難行動を確認	—	氾濫注意情報 洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報	注意
警戒レベル1	災害への心構えを高める	—	早期注意情報			

キキクル（危険度分布）

気象庁では、大雨による土砂災害、浸水害、洪水の危険度をキキクル（危険度分布）のホームページで色分けして掲載しています。いざというときに利用すべき情報の種類を確認し、避難の判断に活用しましょう。



情報の収集

市からの避難情報は、ＦＭ告知端末、屋外スピーカー（市内58カ所）、ＦＭみはら（87.4MHz）から流れます。登録している人には、三原市メール配信システムや市公式SNS（LINE、Facebook、X（Twitter））でも避難情報が届きます。

また、市のホームページのトップページからも避難情報を確認することができます。実際の災害が起こったときにも、三原市からの防災情報を問題なく受け取れるよう、情報の受信手段を確認しておきましょう。

○ＦＭ告知端末について　○メール配信システム　○市公式LINE　○市公式Facebook　○市公式 X（Twitter）

行動する

3. 自ら判断して適切に行動しよう

災害時に避難した人の多くが、「まわりの人が避難したから」という理由で行動を起こしています。

まずは自分から、すみやかに避難をはじめてください。その行動が、たくさんの命を救うことにつながります。

避難のポイント

Point1 安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
内水ハザードマップや洪水ハザードマップ、土砂災害（特別）警戒区域図などで、災害発生のおそれがある場所かどうかを確認しましょう。

Point2 避難する先は、市が指定する避難所だけではありません。
日頃からよく相談して、緊急時に身を寄せられる親戚や知人宅など、安全な避難先を確保しておきましょう。

Point3 警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら、高齢者の方や障がいのある方など避難に時間のかかる方やその支援者の方は危険な場所から避難し、警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、対象の地域にいる方は危険な場所から全員避難しましょう。

避難時の心得

避難は徒歩で！
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

非常持出品の用意！
非常持出品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

外出中の家族には連絡メモを残そう！
「○○へ避難する」といったようなメモを家の中に残しておくと良いでしょう。

集団で助け合おう！
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

避難は安全なルートで！
川べり、橋、地下歩道、がけの近くなどはできるだけ避け、安全な広い道を避難しましょう。

避難所では係の人の指示に従いましょう！
避難所等に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

わが家の防災メモ

家族の名前	生年月日	会社・学校の電話番号	既往症	血液型
	年　月　日			型
	年　月　日			型
	年　月　日			型
	年　月　日			型
	年　月　日			型

緊急連絡先

警察（事故・事件）	消防（火災・救急）	三原市役所	かかりつけの医療機関
110	119	0848-64-2111	

その他のハザードマップ

1.デジタルマップみはら

地図や画像を利用して、市の行政情報や地域情報をインターネットを通じて公開・提供するサイトです。「防災・安全・安心」から各種ハザードマップなどを検索できます。

2.土砂災害（特別）警戒区域図

3.津波浸水ハザードマップ

三原市のハザードマップ　検索

災害用伝言ダイヤル 171

伝言の録音　1 7 1 → 1 → □□□□-□□-□□□□

ガイダンス（説明）がながれます。

被災地にいる方の電話番号、携帯電話、PHS電話の電話番号をダイヤルしてください。市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生　1 7 1 → 2 → □□□□-□□-□□□□

30秒以内で伝言を入れる（録音）

三原市
都市部 下水道整備課
〒723-8601
広島県三原市港町三丁目５番１号
Tel：0848-64-2111
https://www.city.mihara.hiroshima.jp/

令和７年３月現在

学ぶ

4. 防災訓練や防災教室などに参加しよう

市では、風水害をはじめとする自然災害の発生に備え、市民一人ひとりが避難行動を確認することを目的として、市民防災訓練を実施しています。いざというときに適切に避難できるよう、訓練に参加しましょう。

また、地域の自主防災組織も防災訓練を行っていますので、訓練に参加しましょう。

市民防災訓練の様子

段ボールベッド組立訓練

緊急物資の搬送訓練

避難訓練の様子

「みんなで減災」一斉防災教室

広島県では、「『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として、毎年梅雨入り前の時期に、県民の皆さんに、地域、企業、学校などそれぞれの場所で、「風水害への備え」について学んでいただく「広島県『みんなで減災』一斉防災教室」を実施しています。

マイ・タイムラインについて

風水害などの災害が発生する危険が生じた際、命を守るためにいつのタイミングで何をすべきか、また、いつ避難するのかなどをあらかじめ決めておく行動計画表のことで、防災訓練等の教材になっています。

実際にマイ・タイムラインを作ってみましょう。

ひろしまマイ・タイムライン　検索

備える

5. 非常持出品を準備するなど災害に備えよう

災害が起こった場合に支援物資が届くまでに数日かかることがあります。いざという時に備え、非常食などの備蓄や非常持出品の準備を行いましょう。

非常持出品

貴重品
- □ 現金（公衆電話用の小銭を含む）
- □ 通帳・印鑑
- □ 身分証明書（運転免許証、パスポート、健康保険証など）

情報機器など
- □ 携帯電話やスマートフォン、充電器
- □ 携帯用ラジオ　□ 地図
- □ 緊急時の連絡先（家族、親戚、知人）

食料品
- □ 非常食　□ 飲料水

便利品
- □ 万能ナイフ　□ ヘルメット
- □ 懐中電灯　□ ビニール袋
- □ 笛・ブザー　□ ガムテープ
- □ 軍手　□ 給水袋
- □ ライター　□ 油性ペンなどの筆記用具
- □ 携帯用毛布

衛生用品
- □ 救急セット
- □ 常備薬・持病薬
- □ タオル
- □ 簡易トイレ
- □ トイレットペーパー
- □ ウエットティッシュ
- □ マスク
- □ 歯ブラシ
- □ 下着
- □ 眼鏡・コンタクトレンズ（洗浄液）

必要な持出品を書き出しましょう
- □
- □
- □
- □
- □
- □
- □

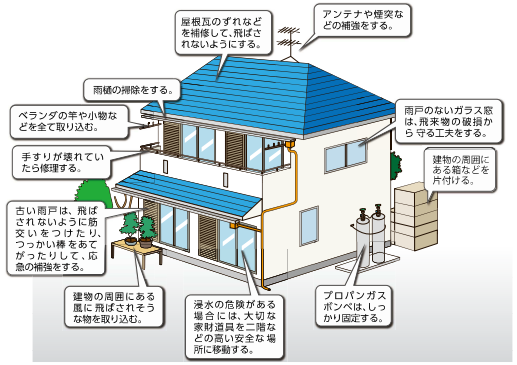
ローリングストック

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限の古いものから消費して、消費した分を買い足すことです。日常生活で消費しながら同時に備蓄ができるため、おすすめです。

備蓄の目安は
家族の人数×最低3日分
※できれば1週間分を備えましょう

6. 家の防災対策

台風や集中豪雨で発生する災害は、ある程度予測できます。情報を入手し、しっかりした準備をしておきましょう。



コラム～いざというときの浸水対策～

浸水が浅い場合は、家庭にあるものを使って水の浸入を減少させることができます。

ポリタンクとレジャーシートの組合せ

プランターとレジャーシートの組合せ

水を入れたビニール袋、段ボール箱とレジャーシートの組合せ

長めの板と土のうの組合せ